



描き上げました。最後に、いせ先生が立原道造の詩「草に寝て：六月の或る日曜日」を朗読し、みんなで描いた野原の景色を味わいました。

こども園の園児は、いろいろな形の雲の写真にのびのびと落書き。続いて、身近な草花や野菜から描きたい物を選んで、観察をしながら大きな画用紙いっぱいに描きました。

「心を開放し表現を楽しむ皆さんの表情に出会えるのは無上の喜び」と柳田先生。子ども達は、2人の先生、同行した写真家の石井麻木さんと親しく触れ合い、心ゆくまで絵画制作を楽しんでいました。

までの里のこども園



柳田先生
写真家の石井さん



6月10日から12日にかけて、絵本作家のいせひでこ先生とノンフィクション作家の柳田邦男先生による絵画のワークショップが開かれました。

いいたて希望の里学園では前期課程の児童が、絵本「最初の質問」(詩・長田弘／絵いせひでこ／講談社)の読み聞かせから野原に思いを馳せ、校舎を飛び出し草花を摘んでスケッチ。さらには野原で過ごす自分を思い描いて、1〜3年生が8m、4〜6年生が12mのキャンバスに、大きな野原を



いいたて希望の里学園・前期課程



子ども達のかたわらに いせ先生の絵本の世界



全村避難の期間に、旧草野・飯樋・白石小学校の仮設校舎で、最初のワークショップを開いていただきました。以来、コロナ禍の中断はありましたが、毎年テーマを変えながら、絵画のワークショップを通して、子ども達に寄り添っていただいています。学園にはこの交流をきっかけに誕生した、いせ先生の絵本のコーナーがあります。こども園では、壁面やホールをやさしく彩るいせ先生の作品が、子ども達の日々を見守っています。



いせ先生



年々見応えを増している「関沢のアヤメ」。深緑に映え美しい花景色が広がっていました。

目次 CONTENTS

- 02 話題「野原を描こう」
- 04 特集「Challenge 広がる農地」
- 10 学びの広場「こども園親子遠足」ほか
- 11 報告「相馬農業高等学校飯館校見学会」
- 12 お知らせ「みんなで支え合う国民健康保険」
- 14 空から百景「緑深き風の道」
- 16 いいたてイノサル通信 特別編
- 18 報告「6月議会定例会」
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 村からお知らせ
- 24 なりわいREPORT
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてPHOTOリレー ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



平成25年10月
実証栽培ほ場に

高野靖夫さん・笑子さん夫婦(前田・八和木)は震災後、農林水産省等の実証栽培に、ほ場の管理者として協力。その地道な取り組みが、村の農地の再生に大きく貢献しました。表紙は今年の6月下旬、「こがねもち」「ひとめぼれ」を栽培する八和木地区のほ場です。高野さんは今年から飯樋地区内のほ場で「あぶくまもち」の栽培にも挑戦しています。P 4 からの特集もご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。